

次期 愛知県産業労働計画（仮称）の策定について

1 目的

現行のあいち産業労働ビジョン 2016-2020（以下「現行ビジョン」）の計画期間が 2020 年度に終了することに伴い、本県の強みである産業競争力の持続的な維持・向上と、雇用環境の充実や人材力強化の好循環を目指すため、産業と労働の両分野が一体となった戦略である新たな愛知県産業労働計画（仮称、以下「計画」）を 2019～2020 年度にかけて策定する。

2 目標年度

同時期に策定予定の次期あいちビジョン（以下「あいちビジョン」）が、リニア中央新幹線の全線開業、スーパー・メガリージョンの完成を見据え 2040 年頃までの社会経済を展望し、目標年度を 2030 年度（計画期間：2021～2030 年の 10 年間）としている。

計画は、あいちビジョンと目指す方向性を一致させる一方、あいちビジョンのアクションプランとしての位置づけを持つものであること、また、めまぐるしく変化する社会経済環境に対応したものとするため、2030～2040 年頃の社会経済を展望しつつ、**2025 年度を目標年度**（計画期間：2021～2025 年の 5 年間）とする方向で検討する。

3 計画の構成イメージ

◆現行ビジョンの評価

現行ビジョンにおける施策の柱ごとの主な進捗評価

◆中長期の社会経済展望とめざすべき将来像

現行ビジョン策定後の社会経済環境の変化や、今後の産業経済の見通し等を踏まえつつ、2030～2040 年頃の社会経済を展望し、産業・労働分野のめざすべき将来像を示す。

◆施策の柱と方向性

めざすべき将来像を実現するために、産業・労働の各分野にわたって 2025 年度までに取り組むべき施策の柱と方向性を示す。

4 検討体制

- (1) 計画策定委員会 [年 2 回開催（今年度は第 1 回：10 月 4 日、第 2 回：翌 3 月頃）]
 - ・ 構成員：16 名(学識者、関係団体、企業、金融機関、行政)
 - ・ 委員会の下に「産業部会（13 名）」「労働部会（11 名）」を設置 [年 2 回開催（今年度は、第 1 回産業部会：10 月 29 日、第 1 回労働部会：11 月 1 日、第 2 回はともに翌 2 月頃）]
- (2) 地域産業労働会議 [各地域年 1 回開催（今年度は 11 月）]
 - ・ 県事務所、センター単位（尾張、海部、知多、西三河、東三河、新城設楽）で実施
 - ・ 計画案に対する各地域の意見聴取
 - ・ 各地域の行政機関、産業界（商工会・商工会議所等）、労働組合等が参画
- (3) その他
 - ・ 各種データ整理、県内企業・従業員等へのアンケート等の基礎調査をシンクタンクに委託
 - ・ 車座集會を実施し、企業の生の声を収集、反映 [翌 1 月以降、適宜]
 - ・ 地域金融機関との勉強会により、金融機関の生の声を収集、反映 [12 月～翌 1 月頃]

5 スケジュール

策定期間は来年度までの 2 か年度とし、今年度末までに骨子をとりとまとめ、2020 年内に策定・公表予定。

2019年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
基礎調査	公募・選定・契約			諸データの収集・整理、アンケート調査、施策の方向性の整理									骨子とりまとめ
職員による検討	論点や方向性の検討						骨子案の作成						
計画策定委員会							①					②	
産業部会								①				②	
労働部会								①				②	
地域産業労働会議									開催				
2020年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
パブリックコメント								実施					
職員による検討	素案の作成						最終案の作成						
計画策定委員会						③			④				
産業部会					③				④				
労働部会					③				④				
地域産業労働会議						開催							